

身障ぐんま

第113号

群馬県障害政策課長に就任して

群馬県健康福祉部福祉局障害政策課長 島方 紀行



時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和7年4月1日から群馬県健康福祉部福祉局障害政策課長を拝命しました島方でございます。この紙上をお借りして御挨拶を申し上げます。

公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会の皆様には、日頃から、本県の障害福祉行政の推進に多大なる御理解、御協力をいただき深く感謝申し上げます。

また、障害者の権利擁護の相談窓口である「障害者110番事業」や、障害者の社会参加に関する情報収集と調査研究等を行う「障害者社会参加推進センター」の運営、昨年度からは新たに「群馬県障害者情報化支援センター」の運営等にも御尽力いただいております。利用者の大幅な増加や、それぞれの利用者に合わせた環境づくりに努めていただいておりますことを改めて御礼申し上げます。

さて、昨今の障害者施策を巡る動きを見ますと、昨年4月1日からは、改正された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」および「群馬県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」が施行され、従来は行政機関等のみが義務とされていた、障害のある方にとって社会的障壁を取り除くために必要かつ合理的な配慮、いわゆる「合理的配慮」が民間事業者等にも法的義務として求められることとなりました。これにより、全ての事業主が、障害のある方から、社会の中にあるバリア（障壁）を取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思表示があった場合に、負担が重すぎない範囲で対応する必要があります。

群馬県では、これまで県民や事業者の理解が進むよう、事業者等の会合に県職員が直接出向いて説明を行ったほか、障害のある方との直接的な対話を通じて理解を深める「障害平等研修（DET）」を各地域で実施して参りました。

今年度は、飲食店に対する合理的配慮の周知啓発のため、群馬県公式動画サイトtsulunotsを活用した動画配信などの新しい取組も進めており、今後も、引き続き強化していきたいと考えております。

また、昨年3月に改定した「バリアフリーぐんま障害者プラン8（エイト）」に基づき、基本理念である「全ての県民が、障害の有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合いながら、地域で共に暮らし、支え合い、安心して暮らすことができる共生社会の実現」のため、総合的な障害者施策の推進にも取り組んでいます。

例えば、令和5年度から実施している「ぐんま強度行動障害総合支援事業」は、事業所に対するコンサルテーションや地域のリーダーとなる人材の育成、施設改修等の補助などを行う事業となっております。強度行動障害児者の支援体制を構築するため、今年度も引き続き、市町村や関係機関と連携し、支援者の人材育成や施設環境の整備、受け入れ先の確保などに取り組んでいるところです。

さらに、障害のある方の自立と社会参加を応援するため、令和5年4月に開設した「群馬県障害者芸術文化活動支援センターこ・ふぁん」が行う、相談支援や人材育成、芸術文化活動に参加する機会の確保などの様々な取組を通じ、引き続き、県民の皆様に対する障害への理解の促進に繋げております。

加えて、今年度からは、物価高騰や報酬改定の影響等により、全国的に閉鎖が増加している就労継続支援A型事業所の経営改善のための事業を新設したところであり、障害のある方への就労支援も重要な取組として考えております。

群馬県といたしましては、今後も、障害者施策の更なる充実を目指し、各種事業にしっかり取り組んで参ります。

障害のある方々が地域で安心して暮らし、積極的に社会参加をできる共生社会の実現のためには、貴会との連携は極めて重要と考えておりますので、今後とも、御指導・御協力の程よろしくお願いいたします。



- 〔P1〕…群馬県障害政策課長に就任して
- 〔P2〕…旭日双光章叙勲の感想
- 〔P3〕…東京2025デフリンピック開催
…関東甲信越ブロック研修会に参加して
…第40回記念障害者による書道・写真コンテスト

- 〔P4〕…令和7年度囲碁・将棋・オセロ交流会
- 〔P5〕…令和7年度群馬県身体障害者福祉団体連合会主要行事計画
…群馬県障害者情報化支援センター
- 〔P6〕…各種相談窓口
…編集後記

旭日双光章叙勲の感想

一般社団法人 群馬県聴覚障害者連盟
理事長 早川 健一



このような立派な勲章をいただくことができるとは思ってもおらず、自分でも信じがたく驚駭しました。とても名誉なことですが、きこえない・きこえにくい人と、その権利を守る活動は、一人で進めていくことは難しく、群馬県聴覚障害者連盟の会員、手話サークル、通訳者の仲間たちと共に取り組んできたお陰だと思っています。これまでの活動を支えてくれた仲間や家族に感謝しています。「仲間よ、ありがとう」。引き続き、共に活動をよろしくお願いします。

きこえないことでの日常のコミュニケーションの壁、情報の壁は小さい時から身にしみて感じています。しかし、そのことに我慢慣れし過ぎるといいますか、状況をなんとかしようと社会に立ち向かう人は多くありません。

壁をなくすべく仲間と連帯し取り組んだ活動は、手話言語条例制定につながり、各地で手話の理解、普及啓発活動やイベントが催されるようになり、社会にも変化が来つつあります。

今後も先輩たちから引き継いだ活動を続け、障害の有無に関わらず、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指して精進していきます。

東京2025デフリンピック開催 11月15日（土）～26日（水）

デフ（Deaf）とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックとは、国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」で、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際スポーツ大会です。

日本で初めての開催でもあり、第1回のパリ大会から100周年の記念すべき大会でもあります。約80カ国から集まった大勢の選手が21競技を行います。群馬県からも、柔道で2人の選手が出場しますので、応援よろしくお願いします。



関東甲信越静岡ブロック研修会に参加して

障害者相談員 荒川とみ子

研修会場は宇都宮、我家からはすぐ隣の県ですが駅員さんが「車だと100kmはあります」と書いた時は遠いのビックリ。

私は聴覚に障害を有し相手のことばが聞こえません。研修会は手話と要約筆記を目で見て学び、会場や列車等は県身障連事務局の皆さんの筆談ボードで助けられました。

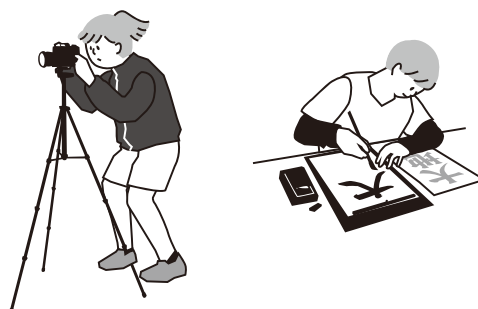
・チャレンジド・コミュニティ理事長金井光一講師は小中高を養護学校で生活したこと、社会参加を応援する仕事を選びその障害者福祉サービス事業の内容や相談支援員として心がけていることなど当事者として丁寧に説明、わかりやすく有意義な時間でした。

・栃木県防災士会副理事長、総務省行政相談員等の資格や経験から、いつ起こるかわからない災害や地域で災害が起きたら何ができるか等々、伊東紀枝講師の講演も身近な大切な学びができ幸いでした。参加して良かったです。



第40回記念障害者による書道・写真全国コンテスト

障害のある方々の文化・芸術活動として、1986年から始まったコンテストです。今年は40回目の記念の年となりました。詳しくは、群馬県身障連HPに掲載の、応募要項と申込書をご確認ください。応募締め切りは9月17日（水）です。



令和7年度囲碁・将棋・オセロ交流会



日 時：令和7年7月23日（水）

場 所：群馬県社会福祉総合センター

当日は暑い日になりましたが、涼しい室内で交流会を行いました。

1回戦は事前に決めた方と、2回戦以降は自由にお相手を見つけて対局していただきました。将棋で

参加した方がオセロにも参戦するなど、お互いの障害状況に配慮しながら楽しく交流が行われました。

また、前回同様に事務局が担当するAI将棋の参戦もあり、対戦待ち時間を解消しました。楽しみにして下さっていた方々も初参加された方々も、熱心に参加していただきありがとうございました。



令和7年度 群馬県身体障害者福祉団体連合会 主要行事計画

実施期日	事業名	主催	会場等
10月1日(水)	本部役員会・理事会	○	県社会福祉総合センター (101、301会議室)
10月30日(木) ～31日(金)	秋季日身連関東甲信越静ブロック協議会 代表者会議		埼玉県ホテルブリランテ武蔵野
10月22日(水)	研修旅行	○	まんてん星の湯
10月25日(土) ～27日(月)	第24回全国障害者スポーツ大会		滋賀県 ※派遣なし
11月9日(日)	第23回グラウンド・ゴルフ大会	○	ふれあいスポーツプラザ
12月3日(水)	福祉大会及び特別研修会	○	県社会福祉総合センター (大ホールほか)
3月4日(水)	本部役員会・理事会	○	県社会福祉総合センター
3月25日(水)	臨時総会	○	県社会福祉総合センター

群馬県障害者情報化支援センター

障害のある人のパソコン利用を支援します。

障害者のIT機器(パソコン、スマートフォン等)利用を総合的に支援することで、障害者の情報収集やコミュニケーションの幅を広げ、自立と社会参加を促進することを目的として設置されました。

当センターでは、障害のある人の支援機器やソフト類の操作体験をすることができます。

まずは、当センターへお問い合わせください。

【内容】

(1) 機器の体験

障害者向け周辺機器やソフトを導入したパソコンを設置しています。

操作体験やインターネットの体験もできます。

※来場の際は、事前予約が必要です。

(2) 相談窓口

来場のほか、電話、FAX、メールでの相談に応じています。

①障害者向け機器やソフトの紹介、使い方についての相談。

②その他、障害のある人がパソコンを使ううえでの相談。

障害のある人だけでなく、ご家族、関係者のかたもご相談ください。

(3) その他

障害者のIT機器利用支援および活用促進のための必要な情報収集、情報提供を行うとともに、当センターの目的に資する事業の企画と実践を行います。

【開館日・開館時間】

月曜日～金曜日 9時00分～17時00分

※土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休館。

※変更になることがありますので、来場の際は事前にご確認ください。

問い合わせ先

〈住 所〉 群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター 2 階

〈電 話〉 027-251-7129 〈FAX〉 027-255-6275

〈メール〉 gunmakenshinren1@xp.wind.jp



各種相談窓口

群馬県障害者110番

障害者に関する相談を受け付けています。
ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

専用電話 027-251-1100

来所相談と弁護士相談は予約が必要です。

- 相談日 月曜日～金曜日（年末年始を除く平日）
- 時 間 9時～15時（12時～13時を除く）
- FAX 027-255-6275
- メール gunmakenshinren 4@xp.wind.jp
- 弁護士無料法律相談 毎月第1・第3火曜日 14時～16時（要予約）

群馬県障害者差別相談窓口

障害のない人たちと違う扱いを受けたことはありませんか。
障害に合った配慮をお願いしてもしてもらえなかったことはありませんか。
障害者差別に関する相談を受け付けています。

専用電話 027-251-1166

来所相談は予約が必要です。

- 相談日 月曜日～金曜日（年末年始を除く平日）
- 時 間 9時～16時30分
- FAX 027-255-6275
- メール gunmakenshinren 5@xp.wind.jp

編集後記

記録に残る暑い夏、残暑もようやく収まり、爽やかな秋風を感じられる季節を迎えました。

以前からニュースや天気予報の全国最高気温観測地点ランキングで、群馬県の地名が度々取り上げられ、数年前までは館林や太田、最近では桐生の地名がよく出されていました。これらを押さえて、8月5日に伊勢崎で歴代の全国最高気温となる41.8度を観測。7月30日に兵庫県柏原で観測された41.2度を、一気に0.6度も更新しました。（昨年までの全国最高気温は埼玉県熊谷、静岡県浜松

で観測された41.1度）

同日には桐生で41.2度、前橋で41.0度を観測し、歴代全国最高気温観測地点ランキングの上位10地点に、群馬県の3地点が記録されることになりました。群馬県が全国的に知られるのはうれしいことですが、最高気温の記録更新はもう打ち止めとなってほしいところです。

日本で初開催となるデフリンピック、東京2025デフリンピックが11月に開幕を迎えます。柔道やゴルフで群馬県関係選手の活躍が期待されます。こちらは記録が更新されるよう、応援していきましょう。